



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

祝 ナショナルデー

2018年10月12日 於：スペイン大使館

今年も恒例のスペイン大使館主催のナショナルデーレセプションにお招きを頂き、横浜スペイン協会の代表として家内と出席して参りました。今回は、初めてお昼の部に参加をしました。会場は、都会の喧騒を忘れる緑豊かな大使館の中庭です。招待客は国会議員、関係省庁幹部、市町村代表者、各国大使館、民間企業幹部、スペイン友好協会関係者、日本在住のスペイン国民等、数百人レベルでとても華やかな会でした。冒頭ゴンサロ・デ・ベニート大使のご挨拶は、今年はスペイン・日本の外交関係樹立150周年という大きな節目に当たり、7月の日本EU間での経済連携協定の署名により、両国の政治的、経済的、そして様々な分野における協力関係が強化された年であったという事。また昨年、スペイン国王・王妃両陛下の国賓としての訪日と、来週に予定されている安倍総理大臣によるスペインマドリッド公式訪問により、両国の関係は更に強化され、日本の皇室とスペインの王室の間、また両国政府や国民の間に古くから存在する尊重と親しみの相互関係も更に深まりつつある事が述べられました。大使は駐日スペイン大使として4年間の任期を終了して数日後に帰国の途につくという事ですが、2国間の強い友情関係を更に深めて行くために、皆様には今後とも変わらない厚いご支援、ご協力を頂きたいとのお願いがありました。続いて、山田賢司外務政務官からナショナルデーの祝辞と、ゴンサロ・デ・ベニート大使が「旭日大綬章」を叙勲されたことへのお祝いが述べられ、会場からは拍手が沸き起こりました。次に平井卓也内閣府特命担当大臣のご挨拶と乾杯のご発声があり、歓談時間となりました。スペイン産の美味しいワインを片手に、パエージャ、ピンチョス、ハモンセラノを頂きながら、今回はいつもにも増して沢山の大使館、交流協会関係者の皆様とお話する機会を持つことができました。最後に、4年間当協会の名誉会長にご就任頂いたゴンサロ・デ・ベニート大使の絶大なるご支援に感謝すると共に、今後の大使のご活躍を心からお祈り致したいと思います。（会長 下山利明）



2018年度後期スペイン語教室

～～後期講座は2018年10月1日（月）から始まりました～～

創立28周年を迎えた横浜スペイン協会が運営する歴史のあるスペイン語教室です。

当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなくスペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

<<受講申し込み、受講費他>>

*入門、初級クラスは日本人講師の指導でしっかり基礎を学び、中級以上はスペイン語ネイティブ講師が指導します。

*受講料：各教室 ¥1,500/回 半期分前納（後期18回）。

*特別講座は、2017年10月に開講した清泉女子大名誉教授の吉田彩子先生による「ドン・キホーテ」を読むクラスです。
後期から第Ⅱ部「ドン・キホーテ」を楽しく読み解くテーマの後編で原文を読み翻訳や解説を交えながら進めていきます。

*10月よりお試し講座として次の2つの講座を開講します（受講料は次表参照）。

- ① ここが聞きたい「文法講座」 ② ディスカッション中心の「チャルラ」

*お問い合わせ、お申し込み先： 下記のメールアドレスにご連絡をお願いします。

E-mailアドレス : spanish_class@yokohama-spain.jp

横浜駅西口教室

クラス名	レベル	項目	講座内容
1	「アサレア」 (入門)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1.2.3 水曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 「Plaza Amigos」Español para hablar スペイン語の基礎を少しずつ着実に、をモットーに学習を進めます。 今期は命令法、過去形(点過去・線過去)へ学習を進めます。 ¥1,500/回
2	「セレス」 (初級)	授業日 講師 講座内容 受講料	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 山田るりこ先生 現在時制を主とした実践的な会話中心の授業と、「ESPIGUITA」で過去時制以降の文法を学びます。 ¥1,500/回
3	「ハスミン」 (初級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 山田るりこ先生 「Entre Amigos 2」 毎週シンプルな作文でアウトプット練習と文法の復習を行いスペイン語会話に繋げて行きます。 テキスト「Entre amigos 2」を使い文法練習をします。 ¥1,500/回
4	「アマポーラ」 (初中級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 10:30～12:00 山田るり子先生 1.講師作成のオリジナルテキスト 2.短編小説 Lola Lagoシリーズ「Por amor al arte」 直接法のみと接続法をオリジナルテキストで学習します。 また短編小説の読解を通じて単語力・表現力をつけていきます。 これらを交互に進めていきます。 ¥1,500/回
5	「カメラリア」 (中級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセロナ出身) 第1週、第2週は2018年9月より「Español en Marcha4」を始めます。 第3週はファン・ホセ・ミリヤスの「Letra Muerta」を2018年6月より読み始めてます。 テキスト、物語は一回の授業で1～2ページとゆっくり進みます。 毎回交代で簡単に自分の出来事など、スペイン語で話します。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回

6	「クラベル」	(中級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 13:00～14:30 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 「Ele Actual B1」、物語読本(タイトル未定) 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指すクラスです。 第1、第2水曜日:「Ele Actual B1」及び練習問題のプリント 第3水曜日:近況をスペイン語で発表した後、スペイン語の物語を読みます。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
7	「ピオレタ」	(中・上級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 リタ先生(Prof. Rita Cantero アルゼンチン出身) 「El mundo en español B」 HABLA CON ENE社 現在のスペイン及び中南米について学びます。 会話中心の授業を展開しながら、芸術・文学・歴史・社会・伝統・習慣などを幅広く学びます。 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
8	「ヒラソル」	(中・上級)	授業日 講師 講座内容 受講料	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 フランシスコ先生(Prof. Francisco J. Garzón Bravo グラナダ出身) 第1水曜日「Alatriste」(1人の男の冒険・歴史ロマン)の映画鑑賞と台本購読 第2,3水曜日「Los Perros y los cuchillos」(1点の絵画を巡る謎と争い)を購読 授業はスペイン語で行われます。 ¥1,500/回
9	「特別講座」		授業日 講師 講義内容 受講料	毎月第3金曜日 13:00～15:00 吉田彩子先生 「ドン・キホーテ」の後編を原典の抜粋と翻訳の双方で講読、その解説。 同時代の文学や時代背景などを講義。 会員:9,000円、非会員10,000円(6回分)
10	「文法講座」		授業日 講師 講座内容 受講料	毎月1回(開講日は、協会HPをご覧ください) 前半: 山田り子先生(アマポーラ、ハスミン、セレソクラス講師) 後半: 栗山由美子先生(新聞・雑誌を読むクラス、アサレアクラス講師) 前半: 発音規則と文の要素、Hay, Estar, Ser動詞の違いとその使い方、電子辞書の使い方ほか 後半: 線過去・点過去、再帰動詞、様々なSEなど 会員・クラス受講者: ¥500/回、そのほか: ¥1,500/回
11	「チャルラ」		授業日 講師 講義内容 受講料	毎月最終月曜日 10:30～12:30(開講日は、協会HPをご覧ください) ビクトル先生(Prof. Victor Pérez カメリアクラス講師) スペイン語の新聞・雑誌等から政治、経済、社会、文化、その他の記事を取り上げ、それに関するディスカッションを通じてスペイン語力の向上を図ることを目標にします。 お試し期間3ヶ月間: ¥500/回、その後は後日決定

横浜海岸通り教室

横浜海岸通り教室 教室所在地: 横浜市中区海岸通り1-1				
	クラス名(レベル)	(レベル)	項目	講座内容
12	新聞、雑誌を読むクラス	(上級)	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第4土曜日 10:15～11:45 栗山由美子先生 スペインの新聞・「El País」の記事を使用。 スペインとラテンアメリカ情勢を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。 (討論は日本語で行われます。) 記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。 ¥2,000/回(テキスト代その他を含む)

●スペイン語クラス

10月1日より後期講座が始まりました。今期より水曜日午前のビオレタクラスはアルゼンチンご出身のメルセデス・リタ・カンパサノ講師が担当いたします。リタ講師は長年外国人のスペイン語指導に携わってこられた経験豊かな講師です。

<第13回スペイン語クラス委員会>

第13回スペイン語クラス委員会が7月18日(水)に開催されました。下山会長、担当理事、クラス委員と下山 AIYES 通信編集長が特別参加し総勢12名で行いました。下山会長の挨拶に続き、福長理事からスペイン語教室の運営全般について報告がありました。中でも10月から2つの新講座がスタート、クラスの枠を超えた「チャルラ」と「文法講座」はこれまでにない新企画としたとのこと。乞うご期待!!!その後各クラスの委員からクラスの状況を報告いただき、以前にも増して活発な活動、学習がなされていることが確認できました。クラス委員の提案で他クラスを見学する「オープンクラス」を11月から2ヶ月間実施することになりました。2時間があったという間に過ぎ充実した委員会が終了しました。(中田博久)

<新聞・雑誌を読む会>特別講座

2018.6.23 於:波止場会館

演題:考古学者にとって重要な5つの遺跡

講師:Begoña González Afuera, 神奈川大学講師

6月23日(土)に波止場会館において、特別講座「旅行者の知らない考古学者にとって重要な5つの遺跡」が開かれました。今回の講師は今年の2月までビオレタクラスの講師をされていた Begoña González Afuera 先生で、私も生徒のひとりでした。馴染みのないテーマに着いていけるか心配でしたが、スペイン



に残る石器時代やローマ時代の遺跡の興味深い話が聞けました。先生も自分の専門分野だけに生き生きと話をされていたのが印象的でした。私にはアルタミラ洞窟以外は全て新しい話でしたが、最初に紹介のあった「Cueva del Castillo」に描かれた沢山の人間の手は印象的でした。他の4つの遺跡(Santa Tegra、Numancia、Libisosa、Cancho Roano)は比較的新しく、ローマ時代の遺跡です。NumanciaはBC2世紀にローマ人に侵略され住民が全滅したところですが、スペイン人にとっては抵抗の象徴として特別な意味を持つそうです。Begoña先生が発掘に参加され、実際に発見した壺の写真には参加者皆さんも拍手を送られていました。スペインを旅行する時は、旅行者にはあまり知られていないこういう場所に行くのも面白いかもしれないと感じさせてくれた講演でした。

(松村 清)

<夏季スペイン語文化講座>

講師; フランシスコ先生、ビクトル先生

7月~8月(計4講座)

IMPRESIÓN SOBRE EL CURSO DE VERANO DE ESPAÑOL

La Presentación sobre "El independentismo en Cataluña 3" Por el Prof. Victor Pérez Villuendas, fue un excelente tema en el curso de verano de español. ¿Sería posible que Cataluña realmente se independizara de España como un estado? La conclusión de Prof. es que la independencia es imposible bajo las condiciones actuales como lo es la presión fuerte del gobierno central y no puede conseguir las aprobaciones de la independencia de la opinión pública internacional. Toda vez que, no habrá

forma de mantener el statu quo, en este caso deberían discutir entre el gobierno central y el Estado de Cataluña sobre el hecho de que Catalunya contribuye significativamente en la parte económica al país. Si no hay beneficio para Cataluña, este tema no concluirá.

Otro tema que vimos fue la historia del autor argentino "Jorge Luis Borges" fue muy interesante porque entendimos la historia de la época de Perón. Perón fue un dictador que privatizó el régimen. Jorge fue reprimido por Perón, pero después de la pérdida de Perón fue liberado, pero esto era la causa que perdió la vista.

El Prof. Garzón Bravo Francisco José, nos presentó los temas culturales versus temas de historia política del Prof. Victor. Considero que estos temas fueron muy adecuados. El Primer tema fue:



"Flamenco: Historia y como apreciado". El Flamenco tiene una historia de gitanos, también surgió por la fusión de música gitana y andaluza que vino de la India a España. Todos vivían fascinados con el Duende de Flamenco.

Otro tema, El "Vino español", me quedo muy claro la diferencia que hay entre los tipos de vino y las características de las regiones productoras de vino, Algunas características del vino muy importantes son: el cuerpo, el sabor, la acidez, y el aroma. Para finalizar, disfrutamos los vinos que fueron introducidos en la clase por el Prof. Garzón, en la reunión amistosa.

Por Hiroaki Masui

《要約：「カタルーニャの独立」は、夏季講座の秀逸のテーマだった。カタルーニャの独立の可能性はあるのか、ないのか？とにかく中央政府との話会いにより何等かの見返りの必要性が分った。「ホルヘ・ルイス・ボルヘス」の話は、ペロン政権時代の歴史がわかり興味深かった。「フラメンコの歴史と魅力」では、フラメンコはジプシーの歴史でもあり、ジプシーとアンダルシアの音楽が融合してできたとのこと。フラメンコの持つ **Duende** には誰もが魅了されてしまうことに抗えない。「スペインのワイン」では、ワインの産地とその性格が紹介された。紹介されたワインが懇親会で試飲でき、そのコク、味、酸味、香り、余韻と言った美味しさに酔いしれた。》（増井博明）



<特別講座> 「ドン・キホーテを楽しく読み解く」

講師：吉田彩子 清泉女子大学名誉教授
毎月第3金曜日 13:00～15:00

当特別講座は、昨年10月に開講し第1部はドン・キホーテを読む為の基礎知識を学びました。第2部は今年4月から始まった、ドン・キホーテの前編の講読で、これには同小説の原文も参照しつつ進められました。後期には後編の講読に入ります。

4月から、「ドン・キホーテ」の第2部に参加させていただいています。「ドン・キホーテ」というと17世紀のスペイン黄金時代の誇り高い古典というイメージがあり、今まで敬遠してきましたが、この講座はそうしたお高いイメージがなくとても楽しく受講しています。その理由のひとつは、講師の吉田彩子先生の丁寧な解説です。当時の原文を読み解くという、本来ならば難しくて頭を抱えそうな内容を、先生は過去に出版された複数の版の挿絵を見せながら詳しく解説してくださるので、「ドン・キホーテ」の世界を楽しく堪能できるのです。もうひとつの魅力は、なんととっても先生がお話になる



ウィットが効いたエピソードです。たとえば、スペインでは兎を食するのですが、その兎を料理する前に絞める方法について、「私のスペインの友人たちは、手で絞めるっていう人もいるけど、車で牽いちゃう人もいるのよ。」と。日本人にとってはびっくりするようなやり方ですが、こんな面白いエピソードがうかがえるのも、毎年スペインを訪れご友人が多い先生ならではのでしょう。不出来な私は、面白いエピソードばかり覚えて帰ってきています。後期はどんな面白いお話が聞けるだろうかと今からワクワクしています。(村田名津子)

●スペイン・サロン

スペイン生粋の舞台芸術「サルスエラ」。オペラやオペレッタとは違う明るい笑いのエンディングが何ともスペインらしくってすこぶる楽しい！土曜の昼下がりを心地よい素敵な演奏で満喫しました。サルスエリスト桜田ゆみさん、テノール小野勉さん、ピアノ宮寄琴音さんの絶妙なコラボレーション舞台は私達を魅了し、サルスエラの歴史と、楽しみ方をたっぷりと教えて下さいました。サルスエラの名曲を9曲、桜田ゆみさんの明るく弾けたトークはとても分かりやすく、情景が目浮かぶようなワクワク感の体験でした。私達観客も参加型の音楽講座、「マルセリーノの歌」「幸せなら手をたたこう」「パロマの前夜祭」の合唱。夫婦で参加したので歌の冒頭のセリフをご披露させていただくシーンもあり(笑)



のセリフをご披露させていただくシーンもあり(笑)

「僕の天使…君無しでは生きられないよ」

「私も、あなた無しでは生きられないわ」

とお互い役者になりきって、囁み囁みでしたが演じさせて頂きました。演奏後、フランス菓子「メーテルリンク」ご提供の美味しいケーキとお茶を飲みながらのお喋りも楽しい時間でした。踊りあり、歌あり、時には胸キュン、笑いありの素晴らしいひとときをご提供下さったスペイン・サロン、スペイン音楽講座に感謝の気持ちでいっぱいです。(大戸尚美)

*次回スペイン・サロンは、毎年恒例の「スペイン料理を作って食べる会」です。

詳しくは「協会からのお知らせ」、同封のチラシ又はホームページでお確かめください。

●旅でスペインを識ろう会

「ブエン・カミーノ」

2018. 5. 14/6. 11 於県民センター

5月と6月の会は、江口義孝さん、朝子さんご夫妻によるサンティアゴ巡礼のお話でした。「日本とスペインで離れてお互いの心配をするくらいなら、え〜い、一緒に行っちゃえ！」の思い切りの良さはお見事です。計17キロの荷物を背負ったおふたりの巡礼は、知識と体力の準備期間を経て、2016年7月14日のサン・ジャン・ピエ・ド・ポーに降り立ったところから始まります。北スペインとはいえ夏の盛り、暑さによる体力の消耗は想像を絶するものだったことでしょう。体調と気候に逆らわず、臨機応変にバスやタクシー、ポーターサービスを利用しながら歩を進められました。時に巡礼路を大き



く逸れての観光、枯れたワインの泉、パスポートと巡礼手帳の行方不明事件、歓喜の丘から見下ろすサンティアゴ大聖堂、8月30日のゴールでの安堵感からの涙、などなど。日々あらゆる感情が渦巻いたことと思います。人との出会いの素晴らしさを全ての巡礼経験者から聞きますが、江口さんご夫妻も御多分に漏れず。道中、23ヶ国もの方たちと交流されたとのこと。帰国後に出版されたご著書「ブエン・カミーノ～妻と歩いた50日～」(非売品)を拝読しましたが、本当に細かく日々の様子やスペインに関する蘊蓄が綴られています。そこから見えるのは、ご夫妻の旅がグルメ紀行でもあったということ。読んでいる間じゅう、私の頭の中もスペイン料理がひしめきあいました。余談ですが、スペインでは本当に蛙の脚を食べるんですね！(ときどきスペイン語のテキスト



で「ごちそう」として見かけるものの、いまだ遭遇したことがありません) 私ごとですが、一昨年はサンティアゴ・デ・コンポステーラを訪れ、昨年はブルゴスからプエンテ・ラ・レイナまで巡礼路を車で逆走し、多くの巡礼者とすれ違いました。あの時の風景を思い浮かべながら、江口さんの軽妙な語り口も心地よく、「旅の会」の終了時間までであったという間でした。50日に亘る巡礼のお話、いつかもっとじっくり伺ってみたいものです。(山田るりこ)

* * *

「スペイン南部の旅」

9月10日に、胡桃沢夫妻のアンダルシアを巡る2回目のお話が始まった。レンタカーを使ってのお二人の旅の話である。初めて聞く地域の名も多かった。高い尖塔こそないがディズニーランドのお城のモデルになったセゴヴィアのアルカサルに似たお城のある Villena 町の Atalaya 城、まだ雪が足元にある山頂に立って周囲を眺めている姿が見えるシエラネヴァダ村、美味しいスペインのお菓子の生産地 Turrón の町、などなど色々と記憶に残った。圧巻だったのはアリカンテでの聖ヨハネの火祭りであった。ここにご夫妻は6月20日から26日まで7日間滞在され、お祭りの沢山の写真を撮られており、私もすっかり堪能した。約40年前に我が家はヴァレンシアに2度にわたり約8年住んでいた。あちらはサンホセの火祭りが春3月にあり大いに楽しんだが、現在では観光客がすっかり増えてしまってホテルの予約も容易ではないと聞いている。当時は今回見せていただいたアリカンテの火祭りと同様で、あちこちの街角に巨大な人形が飾られ、地元に住む住民のための年1回の楽しい春の祭りだった。幼かった娘も地元の民族衣装を着せてもらい、学校の友達と一緒に大喜びで行進していた。爆竹も花火も賑やかで、最終日は真夜中の12時に街の全ての人形を燃やし、街の中心のカステイリョ広場を中心として、夜更けまで人々で大いに賑わっていたが、朝4時には街の中はすっかり清掃されていて、ごみひとつ残っていなかった。アリカンテの火祭りは当時のヴァレンシアの素朴で勢いのある火祭りを思い出させてくれました。有難うございました。(幸島雄一郎)

2018.9.10 於県民センター



2018 05 22

*

胡桃沢さんご夫婦の前半の旅行を聞いておきますと、スペインの中の旅慣れたレンタカー移動手段は、とくに、時間の調整から、近場の買い出しに便利な手段だと思います。時間に忙しいツアーや夜間の行動を自由にコントロールできて、非常に便利だと思います。更には地元の人たちとの交流に便利で、後半のご旅行も、良いものになったと思います。(荒井俊勝)

●CLUB2020 オリンピックまであと何日！！



東京でオリンピック開催が決定した時でした。私たちもスペイン語でボランティア活動ができるのでは…という話が持ち上がりました。討議に討議を重ねた結果生まれたサークル CLUB2020。もちろん、ベテランのプロ通訳と勝負しようなんて滅相もない！ただ、街角で困っている外国人がいたら道案内や電車の乗り方、美味しい食べ物が紹介できるような草の根ボランティアを目指すことにしました。山田るり子先生の適切な教材とご指導で、日本の伝統文化から横浜の名所案内までスペイン語でできるよう学んできました。あやふやな知識で外国人に説明するのは日本人として恥ずべきと、例えば茶の湯だとか神社のお参りの仕方、その一つ一つの動作の意味などを学びなおし、私たちにとっても日本文化を再発見する良い機会にもなりました。時には課外授業で、横浜近辺でガイドの実践を行い実力向上を図ってきました。今年は維新から150年の記念すべき年、横浜はガス灯や、新聞など日本の文明開化の代表的なものの発祥の地でもあります。この時代の文化にも触れることができ私たちの知的好奇心を刺激してくれます。東京都は先日ボランティア募集の詳細を発表しました。募集の分類に従うと私たちはさしずめ「都市ボランティア」に相当するのでしょうか？メンバーがどのような形でボランティア活動ができるのかはまだ定かではありませんが、オリンピックに参加するアスリートのようにワクワクしながら皆と一緒に学ぶことができるのは実に楽しいことです！（福長昭代）

活動日：第1火曜日（第3火曜日は希望者による分科会）

CLUB2020 専用のお問い合わせ先 e-mail: spanish_class@yokohama-spain.jp

●シネマサロン

「ナチュラルウーマン」 [Una Mujer Fantástica]

監督・Sebastián Lelio 2017年、チリ、etc.

ヒロイン・マリーナを演じる Daniela Vega 自身もトランスジェンダーであるという。「あなたの愛は昨日の新聞のようなもの・・・」とナイトクラブで歌っている。父親ほど年の離れた男と暮らしている。誕生日にイグアスの滝行きの切符をプレゼントされるが、夜更けに男は意識を失い、救急病院で亡くなってしまふ。動脈瘤だったと聞かされる。悲しみの中、警察からは疑われ尋問を受け身体まで調べられる。男の家族からは罵られ暴力を受け、部屋を追い出され、会葬も拒否される。強い向かい風の中を歩き続けるシーンは困難に負けないという意思の表れか。何とか取り戻した飼犬と一つの鍵が彼女のものとなった。その鍵は彼が生前行っていたサウナのロッカーの鍵とわかる。探し出したロッカーを開けるとあたりは真っ白に。すると男の姿が現れ、導かれるように火葬場の炉の前にたどり着く。そこでは普段着のまま台に寝かされた男が炉に入れられようとしていた。ようやく最期にもう一度彼に会うことができた。苦しみの中でもオペラ歌手としての練習を欠かさなかった彼女は、ある舞台上でピアノと弦楽器をバックにヘンデルの「Ombra mai fu」を歌う。美しいメゾソプラノだった。これからは、「私らしく、私を生きる」と決意して。（松本益代）



●スペイン文学余話 (3)

《Fernando Aramburu の長編小説『祖国 Patria』(2016年)》

サン・セバスティアンは、バルセロナやガリシア地方と並ぶ美食の町としてメディアで紹介されることが多いが、フェルナンド・アランブールの話題作は、この都市と周辺の村を舞台にしてスペイン現代史の暗部を告発している。「バスク祖国と自由 (ETA)」はバスクの独立を掲げて1958年に設立されたが、フランコ体制の末期には殺害、誘拐、金銭の強奪などを行うテロ組織となり、その犠牲者は800人を超えるといわれる。作品はテロが激化した1980年代から組織が停戦宣言を行った2011年までの二人の女性とその家族の人間模様を扱っている。子供の頃は仲の良かった二人だが、結婚すると境遇は激変する。労働者と結婚した一方の息子はETAのメンバーとなり、もう一方は実業家の夫をETAに殺害される。独立運動をめぐる分断された二人の女性、二つの家族のそれぞれの日常を通して、恐怖と憎悪に支配されたバスクの30年が描かれる。作者は1959年サン・セバスティアン生まれだが1985年以降はドイツで暮らしており、妻もドイツ人。2010年3月のエル・パイス紙のインタビューでは次のように述べている。「私には二つのアレルギーがある。一つはカバノキ abedules の花粉、もう一つは祖国という言葉 la palabra patria。以前から私には国境というものには存在しない。国歌を聞いて気持ちが高揚することはないし、国旗よりは友人の写真を飾りたいと思う。」また別の場所では「自分自身も当時の(バスクがETAの活動に翻弄された)状況の犠牲者である」と述べている。2016年9月に刊行された『祖国』の発行部数は、2018年3月には70万部を超えた。バスク問題を祖国愛から距離をおいて記録しようとする作者の姿勢が広汎な読者の支持につながっているのだろう。家族や友人が国家やイデオロギーによって分断されるという現実には世界中にみられることを考えると、作品が私たちに提示しているのはバスクに限らない普遍的な問題といえる。ETAの武装解除は昨年4月に漸く実現したが逮捕された活動家400人は収監されたままである。彼らを釈放すべきであるという意見と、犯罪者は永遠にその罪を償うべきとして、これに反対する意見(犠牲者の家族を含む)が激しく対立している。(吉田彩子)



●会員の活動報告

*ギターとピアノによるかけ橋〜クエンカ兄弟 with 高木洋子コンサートに参加して

2018.6.30 於:磯子区民文化センター 杉田劇場

日本スペイン外交関係樹立150周年記念イベントの1つである会員のピアニスト高木洋子さんのコンサートに伺いました。当日のプログラムはアランフェス協奏曲第2楽章、誰もが聞いたことがあるアランブラの思い出、他の兄弟デュオに続き、長兄のピアニストでもあるホセ・マヌエル・クエンカ氏と高木洋子さんのピアノ連弾(亡女のためのパヴァーヌ、組曲ドリーよりフォーレ)と多彩な構成。兄弟で息の合った最高レベルのテクニックを駆使した演奏を心ゆくまで鑑賞しました。コンサート終了後は、交流レセプションがあり和やかな雰囲気の中でワイン、シェリーを飲みながらクエンカ兄弟、高木さん、関係者の皆様とコンサートの余韻を感じながら懇親を深めました。当協会後援の素晴らしい高木さんのコンサートは定期的に会員の皆様にご案内させていただきます。次回は、是非とも皆様と楽しい至福の時間を共有しましょう!(下山利明)



*サルスエラ誕生 360 周年記念「人騒がせな娘」La Revoltosa を観て

2018. 09. 14 於 MUSICASA

日本サルスエラ協会主催、日本初演のサルスエラを観ました。冒頭で桜田ゆみさんが「サルスエラをスペイン版のオペラだと思っている人はいませんか？」と観客に質問した後、こう説明してくれました。「オペラでは最後に人が死に、サルスエラは最後に人が笑う」と。ステージが始まると迫力ある歌と踊り、軽快な会話のやりとり、そしてあふれる笑い。流れるよ



うな物語の展開に引き込まれ、あっという間の1時間半でした。今回の舞台では、当協会の福長さん（アキージョ）と武菱さん（クニート）が大家さん夫婦の役を演じていましたが、お二人は既に何回か出演しているとのことで、なかなか落ち着いた役者振りでした。サルスエラは、舞台と観客が一体になって歌ったり踊ったりするのが特徴で、前列の座っていた何人もの観客を舞台に誘って踊らせたり、観客全員で揃って手拍子で歌ったりと大変盛り上がりました。私は、この日サルスエラの魅力とともにサルスエラとオペラの違いを十分に理解することができました。（岩田岳久）

●対外交流

*北海道スペイン協会 木下泰男副会長兼事務局長との面談

7月の中旬、札幌市へ家内と義父の墓参に行く機会があり、その際北海道スペイン協会の副会長兼事務局長の木下泰男氏にお会いし、色々な情報交換をすることが出来ました。北海道スペイン協会では、45名の個人会員の方々が中心となって、会報、広報誌の発行、総会、講演、講習会、テルトリアの主催、開催、後援と幅広い活動をされていて、会員の皆様方のスペインに対する情熱、強いボランティア精神を感じとれました。お送り頂いている会報を毎回楽しみに拝見しておりますが、これを機会に単なる会報の交換のみならず、今後は両協会の会員同士で何かコラボレーションや交流が出来たら良いなと思っております。（下山利明）



《横浜スペイン協会 後援コンサート等》

*とつかお結び広場に出展

戸塚を中心にボランティアや生涯学習、市民活動をしている団体の紹介と交流を図るイベントで、120以上の団体が参加、2000人以上が訪れます。

主催 : とつかお結び広場運営委員会、とつか区民活動センター他

日程 : 2018年12月2日(日)10:00~16:00

会場 : 戸塚区総合庁舎3階

*アランフェス協奏曲 アリ・アラゴン 日本初上陸ギターコンサート 横浜公演
~with 高木洋子 (Piano)

日時 : 2019年1月12日(土)13:30開場 14:00開演

場所 : 横浜市磯子区民センター 杉田劇場

入場料 : 一般前売り 3500円 (協会会員は事前連絡で割引の適応があります)

お問合せ : プリマベラ 050-3051-4645 / primaverajapan@aol.com

*第3回スペイン音楽国際コンクール 本選会

日時 : 2018年12月14日(金) 18:00 開演 ピアノ部門
12月16日(日) 10:00 開演 クラシックギター・声楽・ヴァイオリン部門

場所 : 高輪区民センター

入場料: 無料

お問合せ: コンクール事務局 03-3558-3563

～～ ナショナルデーで繋がるスペインの輪 ～～



いつもお元気! ホセ・アントニオ・デオリ 文化科学担当参事官



会長と同級生
石原伸晃 衆議院議員



名古屋スペイン協会の
相澤一中さん・永田良子さん



ゴンサロ・デ・ベニート大使
と ご存知! 桜田ゆみさん



松田清宏 在高松スペイン名誉領事、
会長と巡礼仲間の高木良彦さん、
巡礼のエキスパート間屋正勝さん



佐藤悟 元スペイン大使、
木下登 南山大学名誉教授、
日本スペイン協会の白居菜穂子さん



横スペ創立時からお世話になっ
た元大使館職員 小原京子さん
¡Guapo! JIN TAIRA さん



日本のフラメンコ第一
人者 小松原庸子さん



毎度お世話になってます
スペイン大使館 色川紀子さん

元スペイン大使 吉川元偉
ICU 特別招聘教授ご夫妻

***** 協会からのお知らせ *****

*** 次回のスペイン・サロン「スペイン料理を作って食べる会」 ～クリスマスのテーブルに～**

講師 : 丸山久美
日時 : 12月15日(土) 13:30~17:00
会場 : 技能文化会館 料理研修室
参加費 : 会員 3000円/非会員 3300円
定員 : 24名
お申込み: 服部/平本 spain_salon@yokohama-spain.jp

*** 横浜スペイン協会ホームページ 新機能のお知らせ**

ツイッター始めました! AIYES 通信編集長 下山綾子が呟きます! フォローお願いします!
全般メールアドレスに加え、新たにスペイン語教室、スペイン・サロンのメールアドレスを設定しました。今後は、目的別にそれぞれのメールアドレスからアクセスをお願いします。(下記赤字部分)

***** 新会員紹介 *****

堀 和彦 (Kazuhiko Hori) 横浜市泉区在住 2018年9月入会

ヒラソルクラスで映画と小説を楽しんでいます。

勝田 雅子 (Masako Katsuta) 横浜市保土ヶ谷区在住 2018年9月入会

意気高くスペイン語の勉強を始めたはいいものの、文法の複雑さにめげそうになっています。しかし、初志貫徹! 「継続は力なり」をモットーに頑張っていきます。よろしくをお願いします。

<< 賛助会員各社の会員サービス内容 >>

◆ 会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サンテリア 1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サンテリア 1杯無料
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・タワーズ・ダイアネクストホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

《編集後記》 夏から話題騒然の映画「カメラを止めるな」ご覧になりましたか? ネタバレを心配しつつの感想は後半に伏線が一気に回収される痛快さ。映画館で拍手が起こるほどでした。この「カメ止め旋風」は海外も席卷、この度「第51回シッチェス・カタロニア国際ファンタスティック映画祭」に出品されたそうですよ。スペインの人たちにも『あの感じ』解ってもらえると嬉しいな! とにかく観ないと解ってもらえない『あの感じ』(A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 平本紀子 福長昭代 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail 全般 : info@yokohama-spain.jp
スペイン語教室: spanish_class@yokohama-spain.jp
スペイン・サロン: spain_salon@yokohama-spain.jp
ホームページ: <http://www.yokohama-spain.jp/>

横浜スペイン協会

今回の原稿締切は

12月10日(月)です